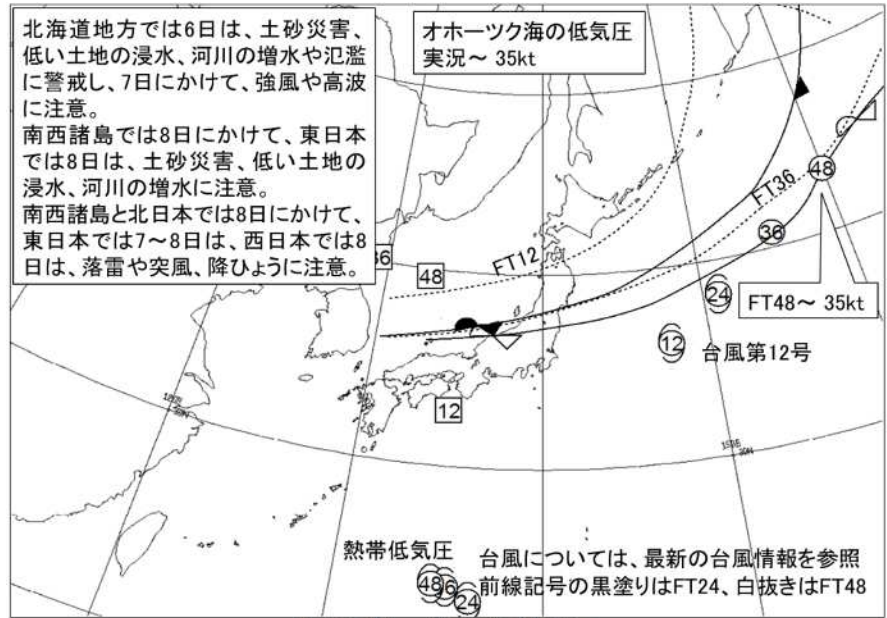


### 1. 実況上の着目点

- ① オホーツク海に前線を伴った低気圧があって、北東進。前線が日本海にのびる。北日本では、1時間に30mm以上の激しい雨を解析。
- ② 猛烈な台風第11号が南シナ海にあって、西進。台風や日本の南の熱帯低気圧の周辺の下層暖湿気、日本の南の500hPa-6℃以下の寒冷渦の影響で、南西諸島では、大気の状態が不安定となっており、雷を検知し海上を中心に1時間に50mm以上の非常に激しい雨を解析。



主要じょう乱解説図

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、8日にかけて東進。前線の閉塞点上に低気圧が発生し、6日夜にはカムチャツカの東へ進む。この低気圧からのびる前線が6日午前中に北海道地方を通過し、その後8日にかけて東北地方から東日本をゆっくり南下する。前線や低気圧に向かい流入する下層暖湿気に、上空寒気、日射による昇温の影響が加わり、東～北日本では大気の状態が不安定となり、激しい雨が降り大雨となる所がある。また、前線や低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。北海道地方では6日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、7日にかけて、強風や高波に注意。東日本では8日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意。北日本では7日にかけて、東日本では7～8日は、西日本では8日は、落雷や突風、降ひょうに注意。
- ② 1項②の台風は6日は、南シナ海を西北西進する。南西諸島では、引き続き台風や1項②の熱帯低気圧周辺の下層暖湿気の影響に、7日にかけて南西諸島を西進する寒冷渦の影響が加わり、大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。南西諸島では8日にかけて土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。
- ③ 8日は500hPa5400m付近の寒気を伴ったトラフがサハリン付近を通過し、北海道地方に500hPa-15℃以下の寒気が流入し、大気の状態が不安定となる。北海道地方では、落雷や突風、降ひょうに注意。
- ④ 東日本では8日にかけて、西日本では9日にかけて、高気圧に覆われて晴れて気温が上昇し、猛暑日となる所がある。熱中症に注意（熱中症警戒アラートを参照）。

### 3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- 4. 防災関連事項 [量的予報等] ①雨量(06時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。②波浪(明日まで)：高い所(3m以上)はない。③高潮(明日まで)：大潮の時期。東日本では注意報基準を超過する所がある。

### 5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。